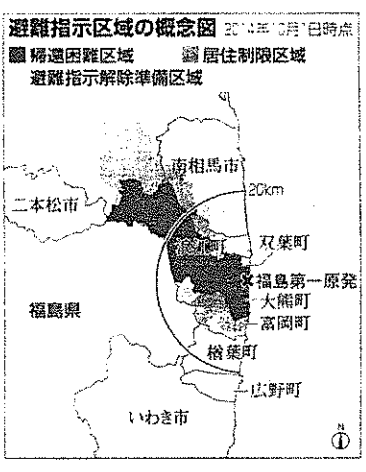


福島県の太平洋沿岸にある浜通りの地方が、介護や医療の深刻な人手不足に陥っています。2011年3月9日に起きた東京電力福島第一原発事故の被災地です。介護職員や看護師などを確保できないため、高齢者も患者を十分に受け入れられなくなっています。

報われぬ国 負担増の先

第3部 療養不安

県二本松市の仮設住宅へ家族とともに避難した。山道は冬になると路面が凍り、慎重に運転しなければならぬ。会社勤めの夫は「やめてもいいんじゃないか」というが、高齢者が困るのが目にみえている。



65歳を車で通勤

この地区で最も大きい南相馬市に、特別養護老人ホーム（特養）の「福寿園」がある。ここで介護支援専門員として働く女性(46)は、いま約65歳の道のりを車で通っている。

一方、入居を申請している高齢者は11月19日時点で486人もいる。「やめるのは簡単だけれど……」。女性も悩んでいる。

南相馬市に住む元公務員の男性(79)は10年前に脳梗塞を患い、右半身にまひが残る。要介護度は2番目に高い。14だ。自宅に妻(80)と暮らす。ずっと妻が介護してきたが、最近約1000

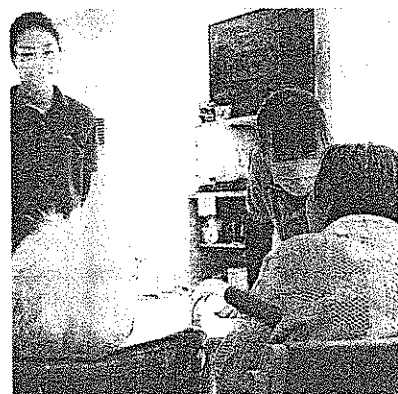
福島 浜通りの介護・医療

特養職員避難、入居者減らす

離れた宮城県内の施設に入るよう勧められている。男性は、特養で日中の介護を受けるデイサービスや短期間入所するショートステイを利用してきた。妻も右足に障害があり、これが夫婦のよりどころだった。ところが、12月、ショートステイが利用できなくな

った。希望者が増え、ばいになったからだ。市内の特養5施設には入居を申請している。だが、どこも入居を待つ高齢者が多く、すぐに入るのには難しいという。

南相馬市での人手不足は介護の現場だけでは足りない。「東日本大震災の前だったら、あんな状態では退院させなかった」。認知症の高齢者が共同で暮らすグループホームで働く女性職員(56)はそう話す。



特別養護老人ホームで休憩時間に入居者と談笑する介護職員＝福島県いわき市

南相馬 要介護・要支援の認定 原発事故後1.5倍に

相双地区の12市町村のうち、いまも特養が運営されているのは、相馬市、南相馬市、新地町、広野町、飯館村しかない。

朝日新聞は11月、この5市町村にある特養11施設に職員や運営の状況などを尋ね、10施設から回答をもらった。10施設から回答をもらった。計300人いるが、介護をするための各特養が理想とする職員数を計84人も下回っていた。複数回答で尋ねたところ、7施設が「職員が疲弊している」、6施設が「離職者が増えた」と答えた。

2025年、全国の年齢層の割合は南相馬市に近づく。全国は国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口、南相馬市は市が把握する居住人口に基づく。

年齢層	全国	2014年10月	2025年10月	福島県南相馬市	2014年12月
0～19歳	17.3%		15.3%	13.1%	
20～64歳	56.6%		54.4%	53.5%	
65歳以上	26.1%		30.3%	33.4%	

入居者の定員は計660人だが、実際の入居者は561人にとどまっています。

8施設では「入居者の受け入れ数を定員より減らしている」という。「増設した30床分が稼働できていない」「ショートステイを減らして入居者のために人手を回しても50床中12床は稼働していない」といった状況だ。

南相馬市は居住人口が約5万1500人（除染や廃炉などで一時滞在する作業員を除く）になり、事故前より約2万人も減った。とくに介護を担ってきた20～30代の女性が

「復興特需」で他職種に流れる

年、肺炎にかかって3回入院した。また微熱が残っていたが、いずれも2週間ほどで退院したという。

市内の病院では看護師が足りず、ベッドがあるのに患者を受け入れられなくなっている。たとえば、市立総合病院は11月末で、病床230床のうち78床を使えない状態だ。及川友好副院長は「退院できる患者はいまは応募がないという。早く帰し、急患を受け入れられる余裕をくわなければならない」と話す。

新卒の採用ゼロ

浜通り南部には、いわき市がある。人口約32万6千人は東北で3番目に多い。原発事故で放射線物質による汚染が少なかつたため、避難者の最大の受け入れ先になった。この9月で2万4159人が仮設住宅や借り上げ住宅に暮らす。

市内のホテルは、原発の廃炉作業員、復興や除染の作業員で満室が続く。2、「復興特需」に沸く。

3月に発表された公示地価では、住宅地の上昇率が全国2位になった。ところが、介護の現場では人手不足がしのびよる。市内の特養「ひまわり荘」では今年春、高校や専門学校を出た新卒者の採用が閉所してから初めてゼロになった。職員は25人で、理想より2人少ない。補充しようとする求人を出しても、いまは応募がないという。ほかに職種の給料が上がら、働き手が流れているためだ。

地元「ハローワーク平」によると、除染作業を含む建設業は、求人する際の基本給が平均で月22万円になる。ひまわり荘は賞与などもあるため収入を単純に比べられないが、基本給だけみると少ない。

ひまわり荘を運営する社会福祉法人は4月、全施設職員の基本給を月4千円上げるペースアップに踏み切った。人件費は年に2千万円増えるという。鈴木正智曰施設長はそう話す。

「景気が良くなるほど、賃金が安い介護に人が集まらなくなる。悪意が回ってこないところか、働き手をとられる一方で」。小玉智曰施設長はそう話す。

「報われぬ国」躍まー 毎月1回 連載をメーイルで送ります。ご意見をお寄せください。keizai@asa-hi.com